

保護者様

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日L3から中学部の保護者を対象に、継承クラスとレベルクラスの違いについて説明会でお話させていただきました。欠席された方で、説明会の内容を知りたいという方がいらっしゃいましたので、簡単ですが、少し説明させていただきます。説明会では、レベル・継承クラスの違いについて、お話をさせていただきました。大まかな内容に関しましては、説明会で使用したプレゼン資料をご覧ください。ここでは、継承クラスの授業についてお話させていただきます。

継承クラスの授業の流れを説明します。

授業はテーマベースのプロジェクト学習です。

- ◎イメージ的には、日本の学校の総合的な学習の時間やIBで行うような授業です。来年度のテーマとして、「(環境)ごみ問題」「(福祉)ユニセフ」「(日本の食文化)味噌作り」などを予定しています。
- ◎各テーマに沿った内容の教材で国語を勉強します。各教材の国語レベルは4年生終了程度です。ただし、現6年生、中学部で来年度「継承2クラス」に残る場合は、テーマによっては難易度を少し上げた教材が別に用意されることもあります。
- ◎各テーマに沿った内容の教材で、社会・理科・算数を勉強します。教科のレベルは3-6年生ですが、その教材で使われる国語レベルは4年生終了程度で統一します。
- ◎各テーマの終わりは、発表で締めくくります。プレゼン、パネル、調理など様々な方法で発表をします。ここで、補習校で身につけた国語力を駆使して、日本語での発表力に磨きをかけてほしいと思います。
- ◎継承クラスに通う生徒の習熟の差は非常に大きくなることが予想されます。その場合、教師は習熟のレベルが低い生徒に基準を合わせて授業を行います。その際、習熟のレベルの高い生徒は、自分の知っている知識を他の生徒と共有したり、教師に指示された内容を個人で学ぼうとする姿勢が求められます。
- ◎継承クラスで習熟のレベルの低い生徒は、調べ学習など、他の言語の力を借りる場面があります。しかし、習熟のレベルの高い生徒(特に現L6、中学部から継承2に進んだ生徒)は、日本語で調べものをする基礎力がしっかりと身につけていますので、本やインターネット上のサイトは日本語のみとし、そこから今まで学習したことのない漢字や表現を学んでほしいと思います。

以上、簡単に継承クラスについて述べさせていただきました。何かご質問がございましたら、藤原までお知らせください。

継承カリキュラムコーディネーター 藤原